

2021年(令和3年)10月20日(水曜日)

室蘭・海星学院高 華道部

「花の甲子園」 切符



室蘭・海星学院高校(堺俊光校長)華道部のチーム「Ste 11a Mari s(ステラマリス)」が、

全国140チームが高校華道日本一を競うコンクール会主催)の北海道地区大会で優勝した。11月14日に京都で開催される全国大会に向けて「自分たちが生けたものを精いっぱい生けたい」と意気込んでいる。ステラマリスのメンバーは、森川海輝さん(3年)、

Ikenobo 花の甲子園2021」(池坊華道)を競うコンクール会主催)の北海道地区大会で優勝した。11月14日に京都で開催される全国大会に向けて「自分たちが生けたものを精いっぱい生けたい」と意気込んでいる。

ステラマリスのメンバーは、森川海輝さん(3年)、

140チームが出場した道地区大会の審査はリモートで行われ、1人10分の計30分以内で生けこみ、3分以内でプレゼンテーションする様子を撮影した動画を提出。生けこみはやり直しきない一発勝負で「自分の思う通りにできた」(赤間さん)と会心の出来だった。

審査員講評で

は、「カットしたアレカヤシと曲げたフトイの幾何学的な構成に工夫がみられた。全体として清潔感のある花で、若々しい印

象を受けた」と高く評価された。同校は道地区大会にこれまで6回出場し、準優勝が最高。悲願の優勝と全国大会出場に「次の日の大会受験のこと」を忘れるくらいに意気込んだ。赤間さんは「自分を信じて努力する気持ち」、赤間さんは「これまで記録してきた写真」を、ヒマワリやアレカヤシ、アジサイに込め、共同作品を完成させた。

華道部(佐々木一部長、15人の部員も3人をサポート)。「日々支えられる。道真作りや花材選びもアドバイスをくれたので感謝の気持ちでいっぱい」(福島さん)。同部外部講師の吉澤万起子さんも「他の部員もずっと一緒に活動してくれた。プレゼンで使つた小道具も作つてくれた」と部全体での快挙達成を強調している。

19日には、花の甲子園工リアサポートで吉本興業のお笑い芸人・スクランブルのとしきさん、だいきさん(共に苫小牧出身)が同校を訪れ、全国大会出場切符を贈呈した。全国大会のテーマは「花の力」。3人は「初めての挑戦になるが、恐れいで大きく伸び伸びと生けたい」などと話していた。

(奥野浩章)

北海道地区大会で優勝したステラマリスの作品

スクランブル(前列両端)から全国切符を受け取った前左から森川さん、福島さん、赤間さんと華道部員